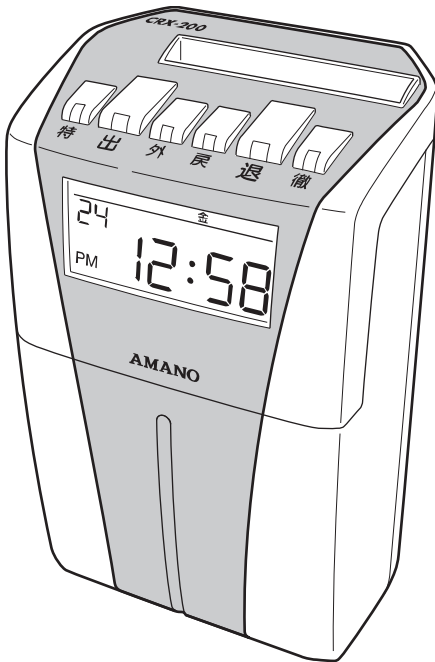


# AMANO

電子タイムレコーダー

## CRX-200

### 取扱説明書



#### タイムレコーダー サポート&サービス

取扱説明書、お問い合わせ、  
チャットボットのご利用は  
こちらからご確認ください。



<https://www.amano.co.jp/Tr/support/index.html>

※ご使用前に必ず取扱説明書をお読みください。  
※この取扱説明書は必ず保管してください。

## 目次

1	はじめに	
2	重要安全情報	1
3	安全にお使いいただくために	2
4	各部の名称	4
	外観	4
	操作部	5
5	設置上の注意	6
	設置場所のご注意	6
	設置のしかた	6
	壁に掛けて使用する場合	7
	電源について	8
6	使用するタイムカードについて	9
7	すぐにご使用になる場合	10
	初期値の説明	10
	初期値一覧	10
8	毎日の使いかた	11
	出勤・退勤の選びかた	11
	タイムカードの入れかた	12
	徹夜ボタンの使いかた	13
	特別日ボタンの使いかた	13
9	設定のしかた	14
	上ケースの開閉	14
	年月日を合わせる場合	15
	時刻を合わせる場合	16
	締日の選択	17
	アマノDカードを使用する場合	18
	15日締めをDカードを使用して おもて面から使用する場合	19
	印字段切換時刻の変更が必要な場合	20
	印字欄を自動で移動させたい場合	21
	曜日の印字を変更したい場合	22
	時刻表示(12H制/24H制)を 変更したい場合	23
	タイムカードの表裏判定と分印字表現	24
	パスワードの設定	26
	パスワードを取り消す場合	28
	サマータイムの設定をしたい場合	29
10	こんなときには	31
	故障かなと思ったら	31
	エラーコード一覧とメッセージ	32
11	印字が薄くなってきたら (リボンカセットの交換)	33
12	付録	36
	日常のお手入れ	36
	製品仕様	37
	消耗品・別売品	37
	製品保証とアフターサービス	38



# 1 はじめに

このたびは、電子タイムレコーダー CRX-200 をお買い上げいただきまして、まことにありがとうございます。

CRX-200 を安全に正しくご使用いただくために、取扱説明書を必ずお読みください。

取扱説明書は大切に保管してください。

## 製品の保証登録のお願い

アマノではご購入いただきました対象製品について、保証登録をしていただくことで、サポートセンターへのお問い合わせや製品の保証期間内の無償保証、メンテナンスサービスを提供しております。

お手数ですが保証登録をお願いいたします。

詳しい内容は、以下 URL の製品保証登録サイトをご覧ください。

## ご登録方法

---

### ■インターネットでの登録

下記の URL にアクセスし、入力フォームから登録してください。

(URL) [https://www.amano.co.jp/Tr/register/index\\_regist.html](https://www.amano.co.jp/Tr/register/index_regist.html)



お預かりしましたお客様の個人情報、今後弊社が取り扱う製品やサービスのご紹介、これらに関する展示会・セミナー等各種イベントのご案内に利用させていただきます、お客様の許可なく第三者に提供等いたしません。

## 製品保証、アフターサービスについてのお問い合わせ

---

タイムレコーダー・サポートセンターへのお問い合わせは、下記URL または QR コードの [お問い合わせ] ボタンよりお問い合わせいただけます。

### 【サポート&サービス】

<https://www.amano.co.jp/Tr/support/index.html>

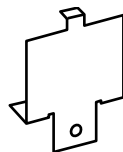


## 付属品をお確かめください

テストカード 1 枚



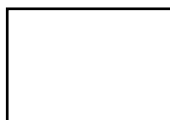
壁掛板 1 枚



取扱説明書（本書）1 部



サポート&サービス  
案内シール 1 枚



## 製品ご利用時の注意点

CRX-200 は設置環境が悪いと正常に使えなくなることがあります。  
屋外や雨水のかかるところでのご使用は避けてください。

## 取扱説明書ご利用時の注意点

製品改良のため、仕様・外形・記載事項等が変更になる場合があります。

## 2 重要安全情報

本機をご使用になる前に以下の警告と注意をよくお読みください。



### 警告

誤った取り扱いをすると感電等による死亡または重傷を負う危険性あるいは火災等の発生が想定される操作・説明では、この警告マークを付記します。

《補足》 重傷とは、失明、けが、やけど（高温、低温）、感電、骨折、中毒などで後遺症が残るもの、および治療に入院・長期の通院を要するものを指します。



### 注意

誤った取り扱いをすると火災・感電・けが等、使用者が傷害を負うことが想定される、または物的損害の発生が想定される操作・説明では、この注意マークを付記します。

《補足》 傷害とは治療に入院や長期の通院を要さないけが、やけど、感電などを指します。物的損害とは家屋・家財および家畜・ペットにかかわる拡大損害を示します。

### 《電源に関する注意事項》

- 電源はAC100V（50/60Hz）です。安定した電源・電圧のもとでご使用ください。
- タイムレコーダーの電源は終夜電源にし、他の機器電源と独立させてください。
- 本機はリチウム電池を内蔵しています。停電になっても内部時計は歩進しています。ただし、停電時はタイムレコーダーの打刻はできません。

### 《上ケースを開ける場合の注意事項》

- 上ケースを開けてリボンカセット交換等を行うときは、スチールデスクなどの大きな金属に触れるなど静電気を取り除いてから作業してください。故障等の原因となることがあります。

### ■絵表示の例■



高温注意

△記号は警告や注意を示します。具体的な警告や注意内容は△の中に絵で示します。



分解禁止

⊘記号は禁止の行為を示します。具体的な禁止内容は⊘の中に絵で示します。



プラグを抜く

●記号は強制する行為を示します。具体的な強制内容は●の中に絵で示します。

### 3 安全にお使いいただくために

本機をご使用になる前に以下の警告と注意をよくお読みのうえ、お守りください。

## 警告



定格電圧外禁止

- ・ 本機に表示した電源電圧以外の電圧で使用しない。  
火災、感電の原因となります。



タコ足配線禁止

- ・ 電源は直接コンセントから取り、タコ足配線はしない。  
火災の原因となります。



ぬれ手禁止

- ・ ぬれた手で電源プラグを抜き差ししない。  
感電の原因となります。



禁止

- ・ 電源コードを傷つけたり、破損しない。  
重い物を載せたり、引っ張ったり、無理に曲げたりすると電源コードを傷め、火災・感電の原因となります。



改造禁止

- ・ 本機を改造しない。  
火災、感電の原因となります。



分解禁止

- ・ 本取扱説明書で取り外す手順を説明した部位以外は、分解したり触れたりしない。  
内部に電圧の高い部分があり、感電の原因となります。



プラグを抜く

- ・ 万一、煙が出ている、へんな臭いがする、発熱するなどの異常が発生した場合は、すぐに電源プラグをコンセントから抜いて、弊社タイムレコーダー・サポートセンターへ連絡する。  
そのまま使用すると火災、感電の原因となります。



プラグを抜く

- ・ 万一、異物(金属片、水、液体)が本機の内部に入った場合は、すぐに電源プラグをコンセントから抜いて、弊社タイムレコーダー・サポートセンターへ連絡する。  
そのまま使用すると火災、感電の原因となります。



定期清掃

- ・ 電源プラグはコンセントから定期的に抜いて、コンセントとの接触部分のほこりやゴミを乾いた布でよく拭き取る。  
ほこりがたまり、火災の原因となります。



スプレー禁止

- ・ 可燃性のスプレー(ほこり除去スプレー、殺虫スプレー、除菌スプレーなど)を噴霧しない。  
火災・爆発の原因になります。



有機溶剤禁止

- ・ 有機溶剤(ベンジン、シンナー、除光液など)を使用しない。  
変形・溶解して、感電や火災の危険があります。

## 注 意



設置場所

- ・ 本機をコンセントの近くに設置し、電源プラグへ容易に手が届くようにする。  
万一、異常が発生した場合は、電源プラグを抜く。



禁止

- ・ ぐらついたり、傾斜した台などの不安定な場所に置かない。  
落下したり、転倒したりしてけがの原因となることがあります。



水ぬれ禁止

- ・ 本機の上に水の入った容器やピンなどの金属物を置かない。  
こぼれたり、中に入った場合、火災・感電の原因となることがあります。



禁止

- ・ 調理台や加湿器のそばなど油煙や湿気があたるような場所、ほこりの多い場所やゴキブリなどがいる場所に置かない。  
火災、感電の原因となることがあります。



固定用具使用

- ・ 本機を壁掛けする場合は、本機の重さを十分に支えることができる壁材に適した固定用具を使用する。  
落下してけがの原因となることがあります。



プラグを持って抜く

- ・ 電源プラグを抜く場合は、電源プラグを持って抜く。  
電源コードを引っ張るとコードが傷つき、火災、感電の原因となることがあります。



プラグを抜く

- ・ リボンカセットを交換するときは、上ケースを外した後、電源プラグをコンセントから抜く。  
そのまま交換するとけがや感電の原因になることがあります。



プラグを抜く

- ・ 本機を移動させる場合は、電源プラグを抜く。  
電源コードが傷つき、火災、感電の原因となることがあります。

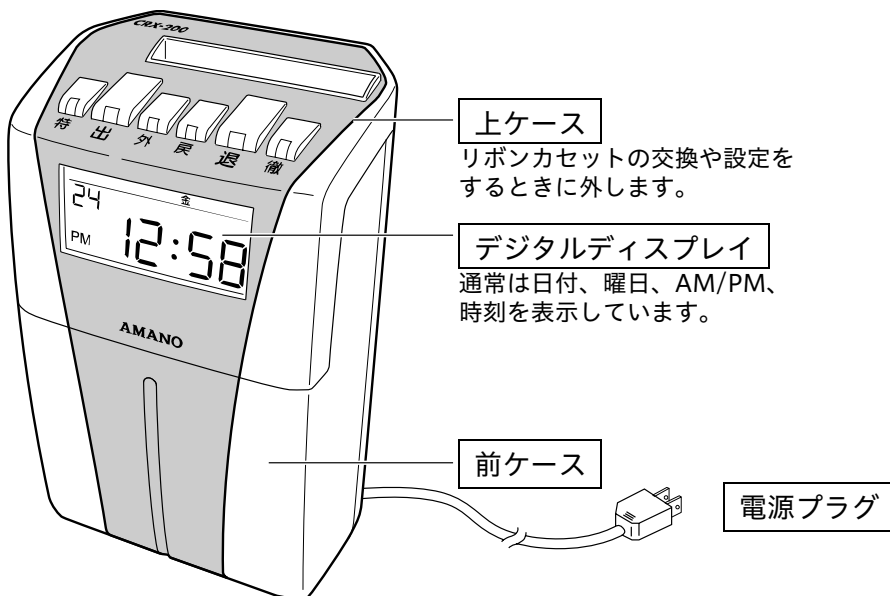


高温注意

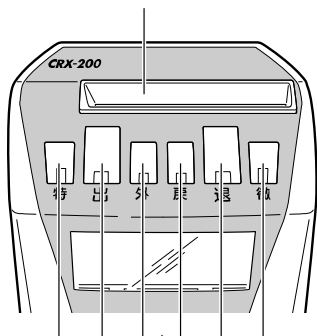
- ・ 高温注意シールのところは触れない。  
やけどの原因になることがあります。

## 4 各部の名称

### 外観

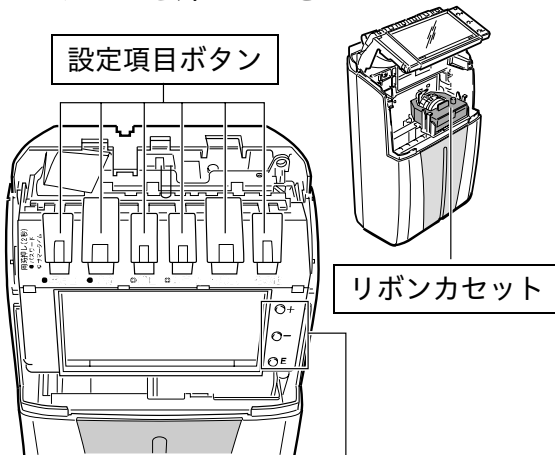


**カードポケット**  
タイムカードを挿入します。



**出・外・戻・退ボタン**  
出勤・外出・戻り・退勤のときにボタンを押してタイムカードを挿入します。

上ケースを外したとき





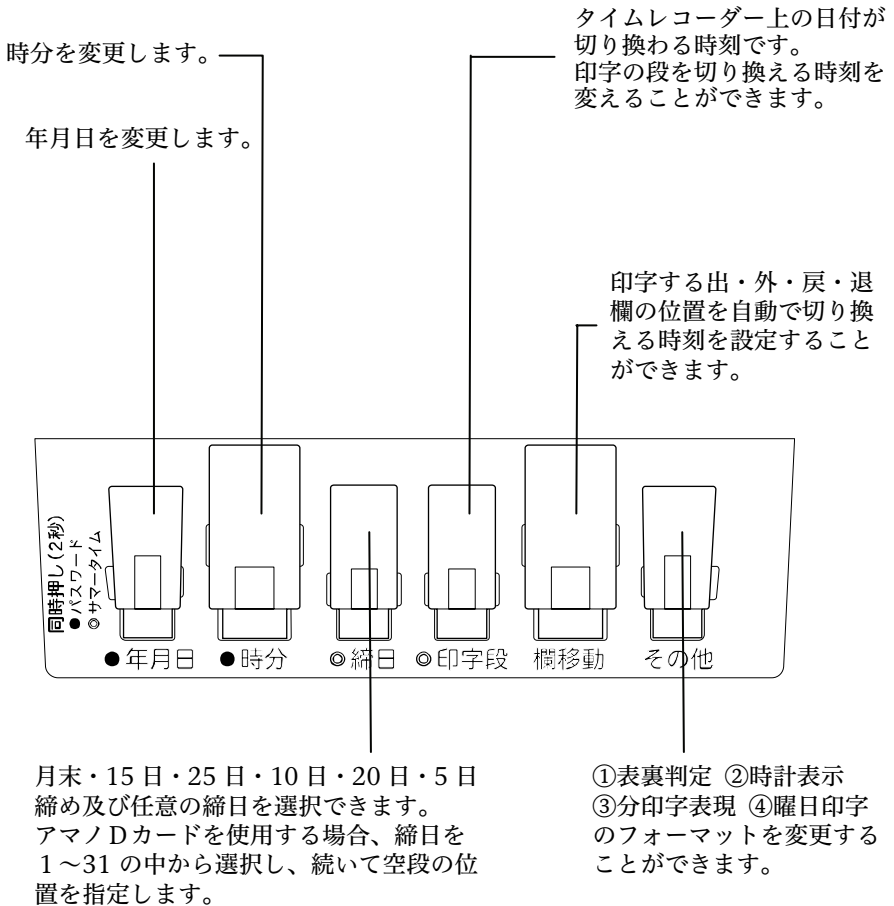
## 操作部

上ケースを開けて、各項目の設定を行います。

設定したい項目に対応するボタンを押して操作を開始します。

設定についての詳しい説明は、14 ページ以降を参照してください。

### ■設定項目



## 5 設置上の注意

### 設置場所のご注意

**⚠ 注意** 故障の原因となりますので、次のような場所に設置しないでください。



禁止

直射日光、熱源のそばには設置しない。



水ぬれ禁止

雨水のかかる場所には設置しない。



禁止

強い振動、衝撃を機器に与えない。



禁止

腐食性ガス、蒸気、塩害のある場所には設置しない。



禁止

調理台や加湿器のそばなど油煙や湿気があがるような場所、ほこりの多い場所やゴキブリなどがいる場所に置かない。

### 設置のしかた

台に置いて使用する場合は、水平な台に置いてご使用ください。

**⚠ 注意**



禁止

ぐらついたり、傾斜した台などの不安定な場所に置かない。  
落下したり、転倒したりしてケガの原因となることがあります。



固定用具使用

本機を壁掛けする場合は、本機の重さを十分に支えることができる壁材に適した固定用具を使用する。

落下してケガの原因となることがあります。

本機は壁掛けでも使用することができます。  
壁に掛けてご使用になる場合は次ページをご覧ください。

# 壁に掛けて使用する場合

## ⚠ 注意



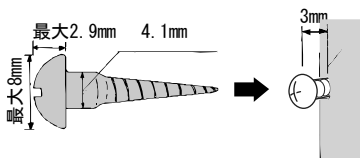
固定用具使用

- ・本機を壁掛けする場合は、本機の重さを十分に支えることができる壁材に適した固定用具を使用する。  
落下してケガの原因となることがあります。

呼び径 4.1mm の木ネジ (丸頭) 3 本とドライバー、キリが必要です。

### 1 木ネジを壁に取り付けます

90 cm ~ 124 cm 程度のところに木ネジを付けると使いやすい高さになります。



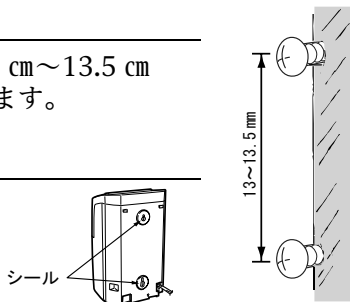
木ネジの頭を  
3mm 出します

下穴を開けてからドライバーで締めこんでいきます。下穴は木ネジの太さの 70% くらいの大さの穴を目安にしてキリなどを使用します。

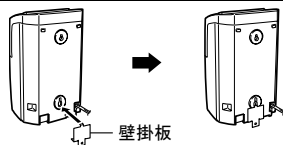
### 2 2 本目を取り付けます

最初に付けた木ネジからまっすぐ下に 13 cm ~ 13.5 cm のところにもう 1 本の木ネジを取り付けます。

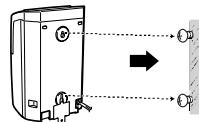
### 3 本体背面シールをはがします



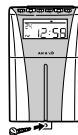
### 4 壁掛板を本体下部のダルマ穴(2ヶ所あるうちの下の方)に引っ掛けます



### 5 ダルマ穴を壁の木ネジに引っ掛けます



### 6 壁掛板を木ネジで固定します



# 電源について

## 警告



定格電圧外禁止

・本機に表示した電源電圧以外の電圧で使用しない。  
また、タコ足配線をしない。  
火災、感電の原因となります。



改造禁止

・本機を改造しない。  
火災、感電の原因となります。



ぬれ手禁止

・ぬれた手で電源プラグを抜き差ししない。  
感電の原因となります。



プラグを抜く

・万一、煙が出ている、へんな臭いがする、発熱するなどの異常状態のときはすぐに電源プラグをコンセントから抜いて弊社タイムレコーダー・サポートセンターに連絡する。  
そのまま使用すると火災、感電の原因となります。



禁止

・電源コードを傷つけたり、破損しない。  
また、重いものを載せたり、引っばったり、無理に曲げたりすると電源コードを傷め、火災、感電の原因となります。



プラグを抜く

・万一、異物（金属片、水、液体）が機器の内部に入った場合は、すぐに電源プラグをコンセントから抜いて弊社タイムレコーダー・サポートセンターに連絡する。  
そのまま使用すると火災、感電の原因となります。



分解禁止

・本機の上ケース以外は外さない。  
内部は電圧の高い部分があり、感電の原因となります。

## 注意



プラグを持って抜く

・電源プラグを抜くときは、必ずプラグを持って抜く。

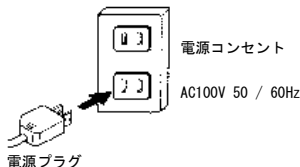
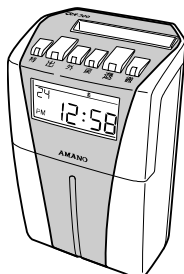
電源コードを引っ張るとコードが傷つき、火災、感電の原因となることがあります。



設置場所

・本機をコンセントの近くに設置し、電源プラグへ容易に手が届くようにする。  
万一、異常が発生した場合は、電源プラグを抜く。

電源プラグを電源コンセントに差し込みます。



- 電源、電圧は安定したところでご使用ください。
- 電源は終夜電源にして、他の機器と独立させてください。
- 電源プラグを定期的に抜き、その周辺およびコンセントにたまったほこりや汚れを乾いた布で拭き取ってください。

ほこり、湿気、油煙の多いところで電源プラグを長期間差したままにすると、その周辺にたまったほこりが湿気を吸って絶縁不良となり火災の原因となります。

## 6 使用するタイムカードについて

アマノ標準タイムカードをご使用ください。

締日によりAカード、Bカード、Cカード、Dカードがあります。

誤ったカード面（表裏反対）を挿入すると「ピコピコピコッ」とブザーが鳴り、印字できません。

NO.		氏名																	
<b>タイムカード</b> TIME CARD																			
年 月分																			
日付	時	分	秒	時	分	秒	時	分	秒	時	分	秒	時	分	秒	時	分	秒	
1																			
2																			
3																			
4																			
5																			
6																			
7																			
8																			
9																			
10																			
11																			
12																			
13																			
14																			
15																			
16																			
17																			
18																			
19																			
20																			
21																			
22																			
23																			
24																			
25																			
26																			
27																			
28																			
29																			
30																			
31																			
年末締め	時	分	秒	時	分	秒	時	分	秒	時	分	秒	時	分	秒	時	分	秒	時
年末締め	時	分	秒	時	分	秒	時	分	秒	時	分	秒	時	分	秒	時	分	秒	時
年末締め	時	分	秒	時	分	秒	時	分	秒	時	分	秒	時	分	秒	時	分	秒	時
年末締め	時	分	秒	時	分	秒	時	分	秒	時	分	秒	時	分	秒	時	分	秒	時

Aカード  
月末/15日締め（両面）

NO.		氏名																	
<b>タイムカード</b> TIME CARD																			
年 月分																			
日付	時	分	秒	時	分	秒	時	分	秒	時	分	秒	時	分	秒	時	分	秒	
21																			
22																			
23																			
24																			
25																			
26																			
27																			
28																			
29																			
30																			
31																			
年末締め	時	分	秒	時	分	秒	時	分	秒	時	分	秒	時	分	秒	時	分	秒	時
年末締め	時	分	秒	時	分	秒	時	分	秒	時	分	秒	時	分	秒	時	分	秒	時
年末締め	時	分	秒	時	分	秒	時	分	秒	時	分	秒	時	分	秒	時	分	秒	時
年末締め	時	分	秒	時	分	秒	時	分	秒	時	分	秒	時	分	秒	時	分	秒	時

Bカード  
20日/5日締め（両面）

NO.		氏名																	
<b>タイムカード</b> TIME CARD																			
年 月分																			
日付	時	分	秒	時	分	秒	時	分	秒	時	分	秒	時	分	秒	時	分	秒	
26																			
27																			
28																			
29																			
30																			
31																			
年末締め	時	分	秒	時	分	秒	時	分	秒	時	分	秒	時	分	秒	時	分	秒	時
年末締め	時	分	秒	時	分	秒	時	分	秒	時	分	秒	時	分	秒	時	分	秒	時
年末締め	時	分	秒	時	分	秒	時	分	秒	時	分	秒	時	分	秒	時	分	秒	時
年末締め	時	分	秒	時	分	秒	時	分	秒	時	分	秒	時	分	秒	時	分	秒	時

Cカード  
25日/10日締め（両面）

Aカード、Bカード、Cカードにはあらかじめ日付が印刷されています。  
締日に合ったカードをご利用ください。

上記以外の締日の場合は、日付の印刷がないDカードがご利用頂けます。

※例えばAカードでは、おもて面（青色の印刷面）から使い始めると月末締めに、  
うら面（赤色の印刷面）から使い始めると15日締めになります。

※アマノ標準タイムカード以外をお使いのときは、正常な動作の保証をいたしません。

## 7 すぐにご使用になる場合

### 初期値の説明

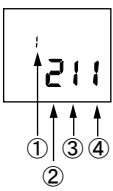
下記の設定内容でしたら、電源プラグをコンセントに差し込むだけで、設定なしでもご使用いただけます。

- ➡ 設定内容：締日が“月末”または“15日”で、午前 3:00 をまたぐ勤務の人がいない場合は、そのままお使いいただくことができます。

■締日=月末または 15日 ・ Aカードを使用します。

■印字段の切換時刻=3:00 ・ タイムレコーダー上の 1 日の開始時刻です。  
この時刻を境に、印字する段を切り換えます。  
・ 印字段の切換時刻を超えて勤務するときは、退勤時に「徹夜ボタン」を押してから印字すると、出勤と同じ段に印字できます。(13 ページ参照)

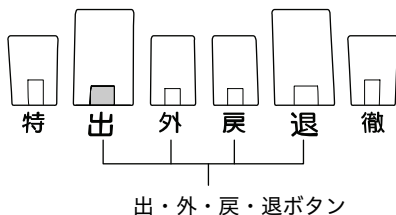
### 初期値一覧

内容	設定値	初期値	参照ページ
締日	01~31	31(月末締め)	17
空段位置	01~32 (アマノ標準A, B, Cカード使用時は設定の必要はありません)	A(1 段目)	18
印字段切換時刻	時 00~23	03:00(午前)	20
その他設定 	①タイムカードの表裏判定 1:する 2:しない	1(する)	24
	②時計表示 1:24H制 2:12H制	2(12H制)	23
	③分印字表現 1:60進法 2:100進法A 3:100進法B 4:10進法	1(60進法)	24
	④曜日印字 0:日付 1:漢字 2:英語 3:曜日印字しない	1(漢字を印字する)	22
サマータイム	サマータイム開始日 実行時刻:0:00~23:00 サマータイム終了日		29

## 8 毎日の使いかた

### 出勤・退勤の選びかた

「出」「退」の印字位置は、出・外・戻・退ボタンを押して選びます。

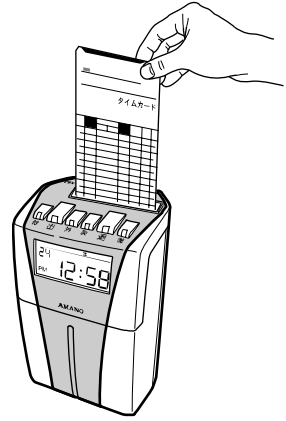


- 出・外・戻・退ボタンのうち赤く点灯しているところに印字します。  
印字したい位置のボタンを押してください。
- 次に出・外・戻・退ボタンのいずれかを押すまでタイムカードの印字位置（欄）は変わりません。  
ただし、欄を自動で移動させる設定をしている場合には、打刻の完了もしくは無操作の状態でも 10 秒経過すると、設定されている印字位置（欄）に変わります。
- すでに印字されている欄を指定した場合、重ねて印字されます。

## タイムカードの入れかた

出・外・戻・退ボタンの点灯位置を確認してタイムカードを軽く挿入します。カードは自動的に引き込まれ、印字されます。

- 自動引込式です。無理に押し込んだり、印字中に引き抜いたりしないでください。
- 《表裏判定機能（24 ページ参照）》  
表裏を誤って挿入すると、印字せずにカードを排出して「ピコピコピコ」とエラー音を鳴らし「E-01」（カードの表裏エラー）が表示されます。ただし、上下を誤って挿入すると印字してしまいますのでご注意ください。
- 付せん紙やクリップをつけた状態でタイムカードを挿入すると紙詰まりなどの原因になります。
- タイムカードに修正液・修正テープを使用しないでください。



### 《時刻改ざん印字（不正防止のため）》

- 時計を5分以上変更すると、変更後初めての打刻のみ「時の位」が小さくなり、アンダーラインが印字されます。

通常  
本 8:23

変更後  
本 8:12

ただし、変更前の時刻に時計を戻した場合は、改ざんを示す印字はされません。

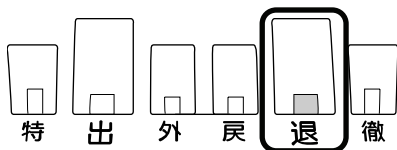
- サマータイムの設定操作をした日に、自動的に1時間進んだり戻ったりした場合も、最初の打刻のみ「時の位」にアンダーラインが印字されます。設定操作をした日でなければ、通常印字となりアンダーラインは印字されません。



## 徹夜ボタンの使いかた

設定された印字段切換時刻（初期値 午前 3:00）を過ぎて勤務した場合でも、退勤時（外出時・戻り時も同様）に、徹ボタンを押して打刻することで、出勤と同じ日の段に印字することができます。

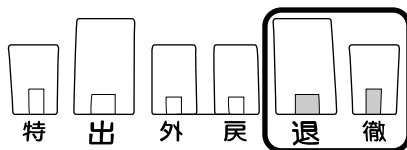
このとき、時分のうしろに“テ”マークが付きます。



(徹) ボタンを押さずに退勤打刻した場合

出	退	出	退		
IN	OUT	IN	OUT		
火 8:25					
				水 6:25	

印字段切換時刻(午前 3:00)を過ぎてからの打刻は翌日退勤打刻とみなされます。



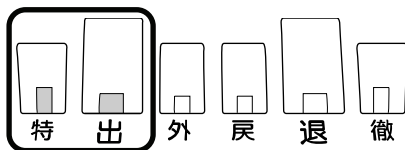
(徹) ボタンを押して退勤打刻した場合

出	退	出	退		
IN	OUT	IN	OUT		
火 8:25					
				水 6:25テ	

印字段切換時刻(午前 3:00)を過ぎていても、(徹) ボタンが押されていれば、出勤と同じ日の段に退勤打刻ができ、徹夜を示す“テ”マークが付加されます。

## 特別日ボタンの使いかた

休日・祝日等、特定の日の勤務を通常の勤務と区別したい場合の操作です。出勤時（外出・戻り・退勤時も同様）に特ボタンを押して打刻することで、時分のうしろに“ト”マークが付きます。



出	退	出	退		
IN	OUT	IN	OUT		
金 8:21ト					
				金 17:42	

“ト”マークを付加

➤特別日ボタンと徹夜ボタンの両方が押された場合は、金 6:24テのように“ツ”マークが付加されます。

## 9 設定のしかた

### 上ケースの開閉

#### 警告



・本機の上ケース以外は外さない。  
内部は電圧の高い部分があり、感電のおそれがあります。

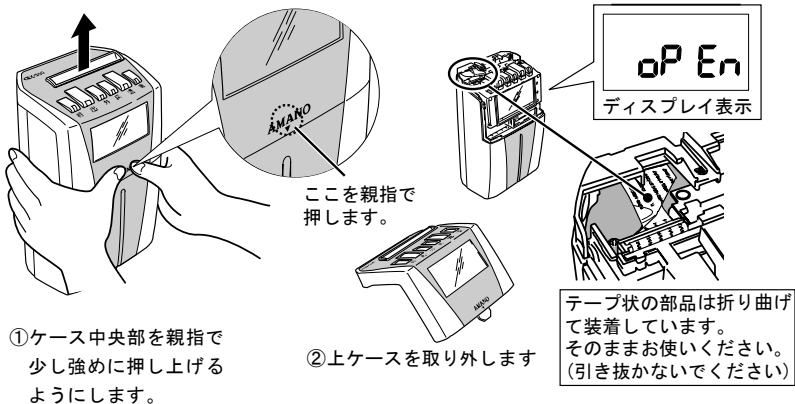


・本機を改造しない。  
火災、感電のおそれがあります。

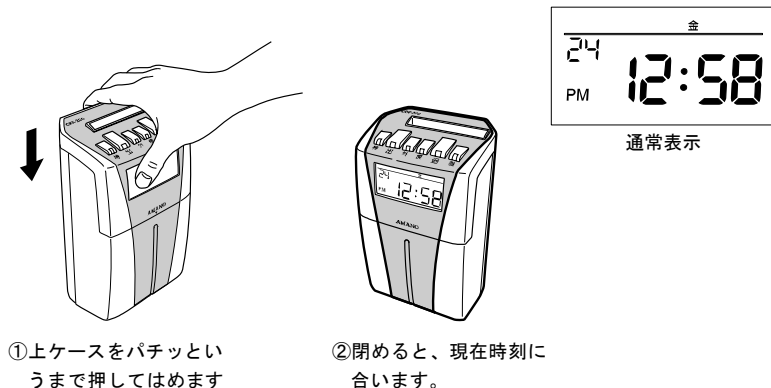
時刻合わせ・縮日変更・年月日変更・リボンカセット交換等の時、上ケースを開けます。

ご注意 上ケースの開閉は電源を入れた状態で行ってください。

#### 開け方



#### 閉め方



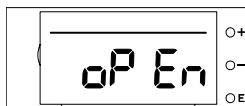
# 年月日を合わせる場合

年・月・日の修正をします。

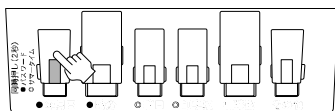
例：2018年4月18日を2018年4月21日にする場合

## 1 上ケースを開けます（14 ページ参照）

設定初期画面



## 2 年月日ボタンを押します



ディスプレイ表示

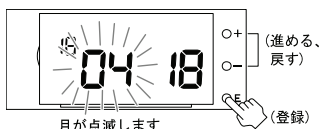


年が点滅します

## 3 「+または-」ボタンを押して年月日を変更します

- ①西暦年(下2桁)を合わせます  
西暦年を確認します。

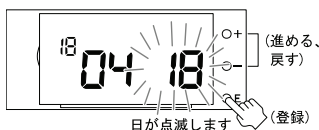
「+または-」ボタンを押して、修正する数値に合わせます。押し続けると早送りします。  
修正する必要がなければ「E」ボタンを押します。  
「E」ボタンを押すと月が点滅します。



月が点滅します

- ②月を合わせます  
月を確認します。

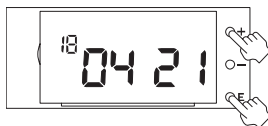
「+または-」ボタンを押して、修正する数値に合わせます。押し続けると早送りします。  
修正する必要がなければ「E」ボタンを押します。  
「E」ボタンを押すと日が点滅します。



日が点滅します

- ③日を合わせます  
日を確認します。

「+または-」ボタンを押して、21 に合わせます。押し続けると早送りします。  
希望する日になりましたら「E」ボタンを押します。  
「E」ボタンを押すと確定します。



## 4 上ケースを閉めます（14 ページ参照）

➡年は、2050 年まで設定できます。

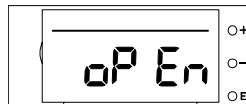
## 時刻を合わせる場合

時刻の修正をします。

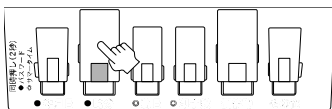
例：18:00 を 8:30 にする場合

### 1 上ケースを開けます（14 ページ参照）

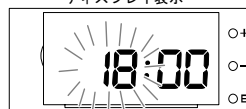
設定初期画面



### 2 時分ボタンを押します



ディスプレイ表示



時が点滅します

### 3 「+または-」 ボタンを使って時分を変更します

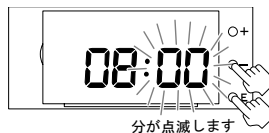
#### ①時を合わせます

「+または-」 ボタンを押して修正する数値に合わせます。押し続けると早送りします。

08 になりましたら「E」 ボタンを押します。

修正する必要がなければ「E」 ボタンを押します。

「E」 ボタンを押すと分が点滅します。



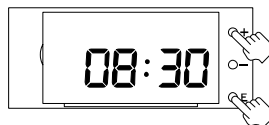
分が点滅します

#### ②分を合わせます

「+または-」 ボタンを押して修正する数値に合わせます。押し続けると早送りします。

30 になりましたら「E」 ボタンを押します。

「E」 ボタンを押すと登録を完了し、0 秒から時計が動きます。



### 4 上ケースを閉めます（14 ページ参照）

## 締日の選択

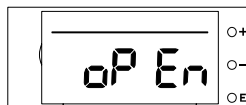
締日とは、1か月単位の処理月の最終日を言います。

締日が月末または15日（Aカード使用）の場合は、変更する必要がありません。

締日が20日または5日（Bカード使用）の場合は、それぞれ20 b、05 bを、また締日が25日または10日（Cカード使用）の場合は、25 C、10 Cを選択します。

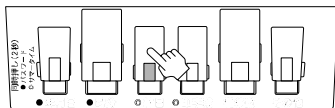
### 1 上ケースを開けます（14 ページ参照）

設定初期画面

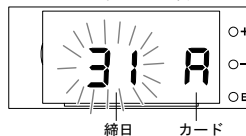


### 2 締日ボタンを押します

現在の締日とタイムカード種類が表示されます。



ディスプレイ表示

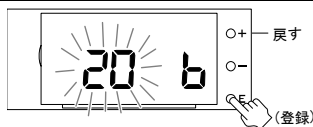


### 3 「-」ボタンで締日を変更します

例：締日を20日に設定する（Bカード使用）

「-」ボタンを押して、20 bの表示にします。  
押し続けると早送りします。

「E」ボタンを押すと確定します。



例：締日25日に設定する（Cカード使用）

「-」ボタンを押して25 Cの表示にします。  
押し続けると早送りします。

「E」ボタンを押すと確定します。



### 4 上ケースを閉めます（14 ページ参照）

#### ➡【参考：「-」ボタンによる締日の送り順序】

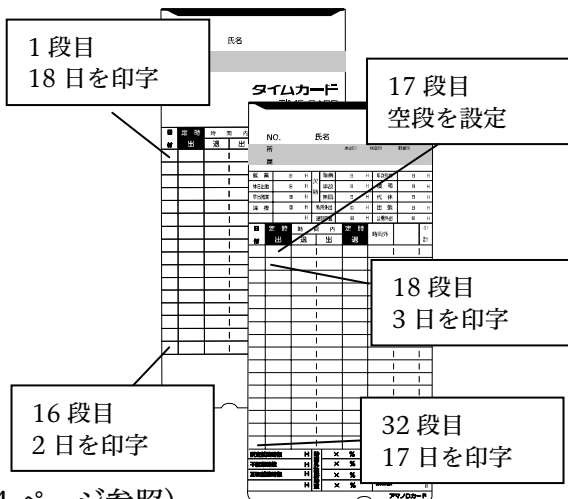
「31 A」⇒「20 b」⇒「25 C」⇒「15 A」⇒「05 b」⇒「10 C」  
⇒「3101」⇒「3001」⇒「2901」⇒・・・⇒「0201」⇒「0101」

## アマノDカードを使用する場合

Dカードを使用する場合には「縮日」の設定に加えて「空段」の設定が必要になります。タイムカード片面にそれぞれ16段、合計32段の印字段に対して、使用しない段を「空段」と呼びます。アマノ標準A、B、Cカードで対応できない縮日として17日縮めを例に説明いたします。

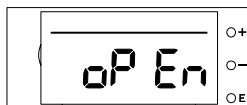
- ・縮日…17日
- ・空段…17段目

17日縮めですので、タイムカードのおもて面(青色の印刷面)の1段目に18日、16段目に2日を印字、うら面(赤色の印刷面)の最上段(17段目)を「空段」に設定し、18段目に3日、32段目に31日を印字します。

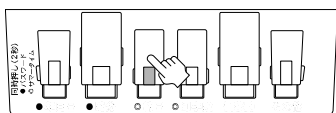


### 1 上ケースを開けます (14 ページ参照)

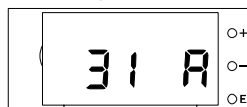
設定初期画面



### 2 縮日ボタンを押します

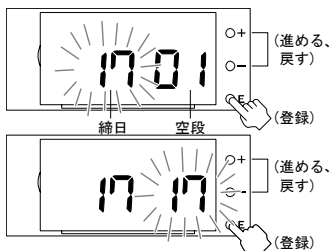


ディスプレイ表示



### 3 「-」ボタンを使って縮日を変更します

- ① 「-」ボタンを押して縮日の表示を17にします。押し続けると早送りします。
- ② 「E」ボタンを押します。
- ③ 「+」または「-」ボタンを押して空段を17にします。押し続けると早送りします。
- ④ 「E」ボタンを押すと確定します。



### 4 上ケースを閉めます (14 ページ参照)

⊖Dカードには日付印刷がありません、日付印字の設定を推奨します。(22 ページ参照)

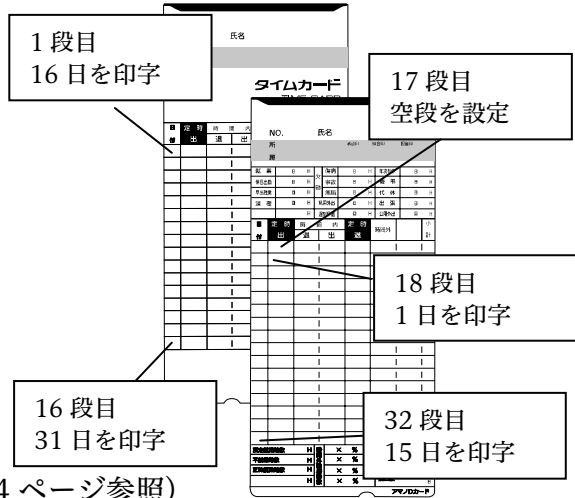
# 15日締めをDカードを使用しておもて面から使用する場合

15日締めの場合は、通常Aカードを使用します。

Aカードはおもて面(青色の印刷面)を1日から、うら面(赤色の印刷面)を16日から使用します。設定により15日締めでもDカードを使用しておもて面(青色の印刷面)から使用することができます。

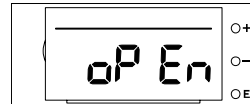
- ・締日…15日
- ・空段…17段目

15日締めですので、タイムカードのおもて面(青色の印刷面)の1段目に16日、16段目に31日を印字、うら面(赤色の印刷面)の最上段(17段目)を「空段」に設定し、18段目に1日、32段目に15日を印字します。

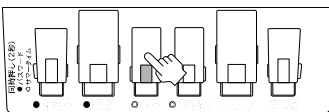


## 1 上ケースを開けます (14 ページ参照)

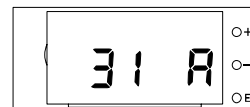
設定初期画面



## 2 締日ボタンを押します



ディスプレイ表示



## 3 「-」ボタンを使って締日の表示を15まで送ります

- ① 「-」ボタンを押して締日の表示を15にします。押し続けると早送ります。
- ② 「E」ボタンを押します。
- ③ 「+」または「-」ボタンを押して空段を17にします。押し続けると早送ります。
- ④ 「E」ボタンを押すと確定します。



## 4 上ケースを閉めます (14 ページ参照)

➡Dカードには日付印刷がありません、**日付印字**の設定を推奨します。(22 ページ参照)

## 印字段切換時刻の変更が必要な場合

本機は印字するタイムカードの段が午前 3:00 に切り換わるように設定されています。

午前 3:00 から翌日の午前 2:59 までが同じ印字段に印字されます。

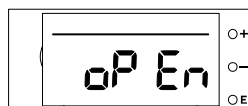
右図は、午前 3:00 を超えて退勤打刻をした場合の例です。午前 5:10 に打刻した為翌日の段に印字されています。

日付	定時出	時間内退	時間内出	定時退	時間外	小計
1	*22:09					
2				* 5:10		

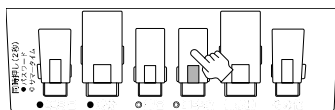
### 例：印字段切換時刻を午前 6:00 に設定する

#### 1 上ケースを開けます (14 ページ参照)

設定初期画面



#### 2 印字段ボタンを押します



ディスプレイ表示



#### 3 「+または-」ボタンを押して印字段切換時刻を変更します

- ①「+または-」ボタンを押して 06 に変更します。  
押し続けると早送りします。



- ②「E」ボタンを押すと確定します。

※印字段切換時刻を午前 6:00 にセットすると、翌日の午前 5:59 までは同じ印字段になります。

日付	定時出	時間内退	時間内出	定時退	時間外	小計
1	*22:09			* 5:10		
2						

#### 4 上ケースを閉めます (14 ページ参照)

➡印字段切換時刻は「時」のみ変更可能で、「分」は 00 分固定です。



# 印字欄を自動で移動させたい場合

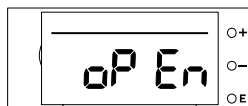
自動欄移動機能を使用することで、設定した時刻に印字欄を1欄～4欄まで自動で移動させることができます。

印字欄を出勤時間帯には「出勤」に、退勤時間帯には「退勤」にすることができます。

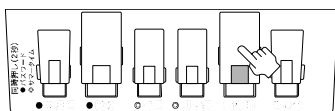
例：午前 3:00 から 1 欄(出勤)、午後 12:30 から 4 欄(退勤)にする場合

## 1 上ケースを開けます (14 ページ参照)

設定初期画面



## 2 欄移動ボタンを押します



① 「+または-」ボタンを押して、設定する欄の番号まで数値を送ります。1欄(出勤)ですので、そのまま「E」ボタンを押します。

② 「+または-」ボタンを押して、03まで送り「E」ボタンを押します。「E」ボタンを押すと、分が点滅します。

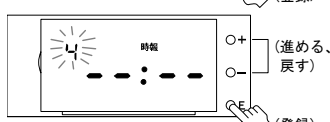
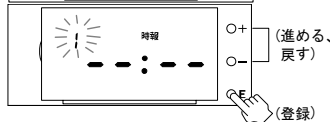
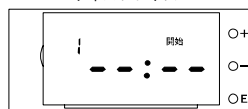
③ 「+または-」ボタンを押して、設定する数値まで送り「E」ボタンを押します。変更の必要がない場合は、そのまま「E」ボタンを押します。

④ 「+または-」ボタンを押して、4 (移動する欄の番号) まで送り、「E」ボタンを押します。

⑤ 「+または-」ボタンを押して、12まで送り「E」ボタンを押します。「E」ボタンを押すと、分が点滅します。

⑥ 「+または-」ボタンを押して、30まで送り「E」ボタンを押すと確定します。

ディスプレイ表示



## 3 上ケースを閉めます (14 ページ参照)

➡引き続き設定を行う場合は、「E」ボタンを押して、手順①～③の操作を行います。

➡「時」を--:--の表示にすると設定を取り消すことができます。

# 曜日の印字を変更したい場合

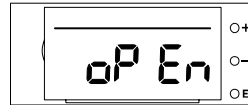
タイムカードに印字する曜日の種類を変更します。

曜日印字 0：日付 1：漢字 2：英語 3：曜日印字しない

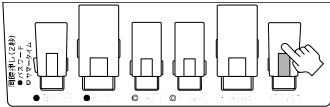
例：曜日印字を日付印字に変更する

1 上ケースを開けます (14 ページ参照)

設定初期画面



2 その他ボタンを押します



ディスプレイ表示  
表裏判定 分印字表現



3 「+または-」ボタンを使って曜日印字を変更します

①「E」ボタンを3回押します  
曜日の印字の数値が点滅します。



②曜日の印字を変更します  
0 になるまで「-」ボタンを押します。  
0 になりましたら「E」ボタンを押します。



0：日付  
1：漢字  
2：英語  
3：曜日印字しない

## 印字例

日付	定時出	時間内退	時間内出	定時退	時間外	小計
1						
2	8:52					

日付の印字になります。

4 上ケースを閉めます (14 ページ参照)

⊖Dカードには日付印刷がありません、**日付印字**の設定を推奨します。

# 時刻表示(12H制/24H制)を変更したい場合

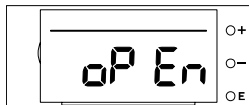
デジタル時計の時刻表示(12H制/24H制)を変更します。

時刻表示 1 : 24H制 2 : 12H制

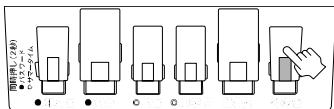
例：時刻表示を24H制にする場合

## 1 上ケースを開けます (14 ページ参照)

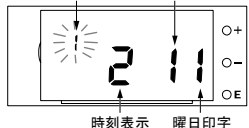
設定初期画面



## 2 その他ボタンを押します



ディスプレイ表示  
表裏判定 分印字表現

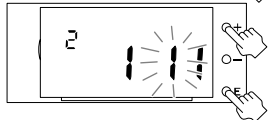


## 3 「+または-」ボタンを使って時刻表示を変更します

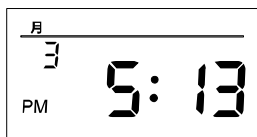
- ① 「E」ボタンを1回押します  
時刻表示の数値が点滅します。



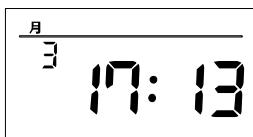
- ②時刻表示を変更します  
1 になるまで「-」ボタンを押します。  
1 になりましたら「E」ボタンを押します。



## 4 上ケースを閉めます (14 ページ参照)



12H制



24H制

# タイムカードの表裏判定と分印字表現

タイムカードの表裏判定の有無と時刻の表現方法を設定します。

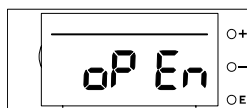
※タイムカードの表裏判定する／しないは、アマノ標準A、B、Cカードをお使いのときは設定不要です。Dカードをご使用のときに設定することがあります。

タイムカードの表裏判定 1：する 2：しない  
分印字表現 1：60進法 2：100進法A 3：100進法B 4：10進法

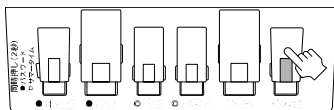
例：タイムカードの表裏判定なし、分は100進法Bに設定する場合

## 1 上ケースを開けます (14 ページ参照)

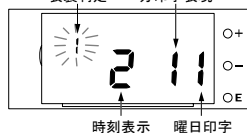
設定初期画面



## 2 その他ボタンを押します

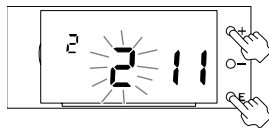


ディスプレイ表示



## 3 「+または-」ボタンを使って表裏判定と分印字表現を変更します

- ①タイムカードの表裏判定を変更します  
2になるまで「+」ボタンを押します。  
2になりましたら「E」ボタンを押します。



- ②分印字表現を変更します  
点滅位置が分印字表現になるまで「E」ボタンを押します。  
次に数値が3になるまで「+」ボタンを押します。  
3になりましたら「E」ボタンを押します。



## 4 上ケースを閉めます (14 ページ参照)

## 分印字表現

60 進法	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14
100 進法 A	0	2	3	5	7	8	10	12	13	15	17	18	20	22	23
100 進法 B	0	0	0	5	5	5	10	10	10	15	15	15	20	20	20
10 進法	0	0	0	0	0	0	1	1	1	1	1	1	2	2	2

60 進法	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29
100 進法 A	25	27	28	30	32	33	35	37	38	40	42	43	45	47	48
100 進法 B	25	25	25	30	30	30	35	35	35	40	40	40	45	45	45
10 進法	2	2	2	3	3	3	3	3	3	4	4	4	4	4	4

60 進法	30	31	32	33	34	35	36	37	38	39	40	41	42	43	44
100 進法 A	50	52	53	55	57	58	60	62	63	65	67	68	70	72	73
100 進法 B	50	50	50	55	55	55	60	60	60	65	65	65	70	70	70
10 進法	5	5	5	5	5	5	6	6	6	6	6	6	7	7	7

60 進法	45	46	47	48	49	50	51	52	53	54	55	56	57	58	59
100 進法 A	75	77	78	80	82	83	85	87	88	90	92	93	95	97	98
100 進法 B	75	75	75	80	80	80	85	85	85	90	90	90	95	95	95
10 進法	7	7	7	8	8	8	8	8	8	9	9	9	9	9	9

# パスワードの設定

## ■タイムレコーダーの設定を変更する前に

本機は、設定の改ざんを防止する為のセキュリティとして、パスワードによる設定保護機能が搭載されております。

この機能を設定すると、設定変更時に数字4桁のパスワード入力が必要となります。

※設定操作時にパスワード入力が必要ない場合は設定しないでください。

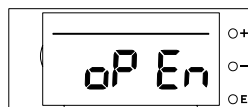
※ご購入時にはパスワードは設定されていません。

この機能を使用されるお客様は、以下の手順でパスワードの登録を行ってください。

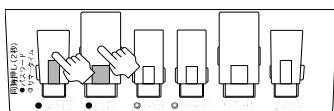
## 例：パスワードを“1234”に設定する

### 1 上ケースを開けます (14 ページ参照)

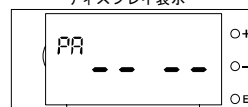
設定初期画面



### 2 年月日と時分設定ボタンを2秒以上同時に押します



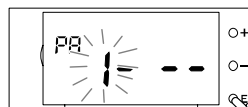
ディスプレイ表示



#### ①最初の桁を設定します

「+または-」ボタンを使用して

1になるまで変更し、「E」ボタンを押します。



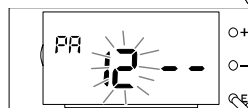
(進める、戻す)

(登録)

#### ②次の桁を設定します

「+または-」ボタンを使用して

2になるまで変更し、「E」ボタンを押します。



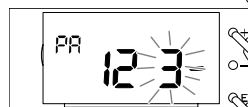
(進める、戻す)

(登録)

#### ③同様に3～4桁目を設定します

「+または-」ボタンを使用して

3になるまで変更し、「E」ボタンを押します。



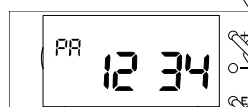
(進める、戻す)

(登録)

#### ④4桁目を設定したら「E」ボタンで登録します

「+または-」ボタンを使用して

4になるまで変更し、「E」ボタンを押します。



### 3 時分ボタンを押すとパスワードの登録が完了します

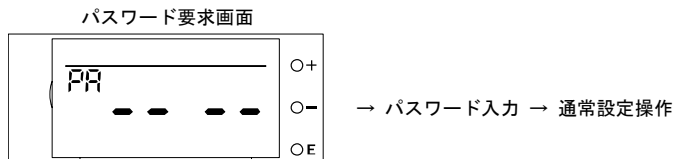
---

次回設定時より、設定変更時にパスワードが要求されるようになります。

### 4 上ケースを閉めます（14 ページ参照）

---

➡パスワードを設定すると、設定操作時にパスワードの入力が必要になります。



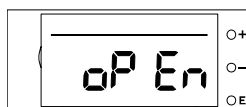
➡パスワードを変更する場合は、取り消してから設定（再設定）します。

➡不正防止のため、設定したパスワードはお客様の責任において管理をお願いいたします。万が一、パスワードをお忘れになった場合、弊社タイムレコーダー・サポートセンターまでご連絡ください。（正規の管理担当者様からのご依頼であるか、確認させていただくことがあります）

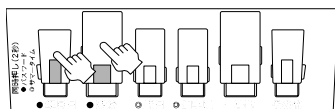
# パスワードを取り消す場合

## 1 上ケースを開けます (14 ページ参照)

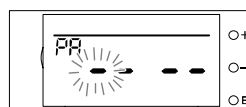
設定初期画面



## 2 年月日と時分設定ボタンを 2 秒以上同時に押します



パスワード要求画面



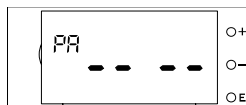
- ① お客様が設定した 4 桁のパスワードを入力します。
- ② パスワードの入力が完了すると最初の桁が点滅します。



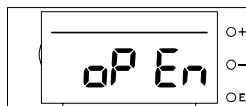
- ③ 「+ または -」 ボタンを使用して - (ハイフン表示) になるまで変更します。



- ④ 「E」 ボタンを押して表示が --- --- であることを確認します。



- ⑤ 時分ボタンを押して完了します。



## 3 上ケースを閉めます (14 ページ参照)

※次回設定時より、設定変更時にパスワードの入力は必要なくなります。



## サマータイムの設定をしたい場合

日本国内において、サマータイムが導入されたときに使用します。

サマータイムの開始/終了日と、実行時刻を設定するとサマータイム機能が有効になります。

登録したサマータイム開始日の実行時刻になると、自動的に時計が1時間進みます。

登録したサマータイム終了日の実行時刻になると、自動的に時計が1時間戻ります。

### サマータイム機能の設定例

例えば、開始日=2019年4月7日(日曜日)、

終了日=2019年10月27日(日曜日)と設定した場合

本機は開始日を4月の最初の日曜日、終了日を10月の最後の日曜日と認識します。

そのため、サマータイム終了日を過ぎると、翌年のサマータイム設定は、自動的に

開始日=2020年4月5日(日曜日)、

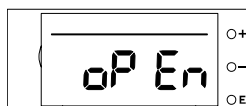
終了日=2020年10月25日(日曜日)と設定し直されます。

1度設定をすれば、その後は設定不要です。

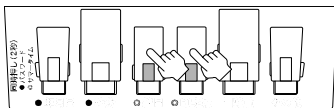
例：開始日を2019年4月7日、実行時刻を午前5:00に設定します。

### 1 上ケースを開けます (14 ページ参照)

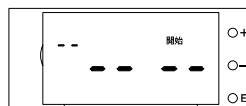
設定初期画面



### 2 締日ボタンと印字段ボタンを2秒以上同時に押します



ディスプレイ表示



### 3 「+または-」ボタンを使ってサマータイムを設定します

① 「+または-」ボタンを押すと、開始年月日とその曜日を表示します。



② 西暦年を合わせます  
西暦年を確認します。  
修正する必要がなければ「E」ボタンを押します。



③ 月を合わせます  
04 になるまで「+」ボタンを押し、「E」ボタンを押します。



④日を合わせます

07 になるまで「+」ボタンを押し、「E」ボタンを押し  
ます。



⑤もう1度、「E」ボタンを押します

「E」ボタンを押すと、実行時刻を表示します。



⑥実行時刻を設定します

05 になるまで「+」ボタンを押し、「E」ボタン  
を押します。

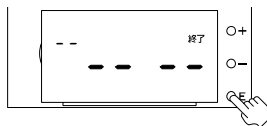
「E」ボタンを押すと、点滅が点灯に変わります。



実行時刻の設定は、「時」のみで、「分」は00分固定です。

⑦もう1度、「E」ボタンを押します

曜日の印字の数値が点滅します。



## 4 終了年月日の設定後、上ケースを閉めます (14 ページ参照)

### ■設定の確認をしたい場合

設定終了後、再度サマータイム設定に入り締日ボタンを押すごとに、開始年月日→実行時刻→終了年月日と表示が変わり、設定の確認ができます。

### ■設定の取消しをしたい場合

開始日と終了日を同じ年月日で設定すると、サマータイムは機能しません。

## 10 こんなときには

### 故障かなと思ったら

現象	原因と対象方法
カードが入らない	・ 停電中 ⇒ 復電するまで待つ
	・ 電源コードが抜けている ⇒ 電源プラグをコンセントへしっかりと差し込む
	・ カードを引き抜いたり無理に押し込んだりした ⇒ 電源プラグを抜き、差し込み直す
“ピコピコピコッ”と音がして「E-01」を表示し印字しない	・ カード面を逆に挿入した ⇒ カードの表裏を反対にして挿入する
“ピーツ”と音がして印字しない	・ カード挿入の失敗 ⇒ 軽く押しぎみに挿入する
時計が遅れている (進んでいる)	・ 時刻合わせの間違い ⇒ 「時刻を合わせる場合」 P.16 参照
	・ 長時間の停電 ⇒ 「年月日を合わせる場合」 P.15 参照
曜日・日付が違う	・ 日付合わせの間違い ⇒ 「年月日を合わせる場合」 P.15 参照
印字がうすい (印字が欠ける)	・ リボンの寿命 ⇒ 「リボンカセットの交換」 P.33 参照
	・ リボンカセットの装着ミス ⇒ 正しくセットし直す
印字段が違う	・ 縮日などの設定間違い ⇒ 縮日、空段、印字段切替時刻、日付の設定を確認する
印字欄が違う	・ 印字欄の選択ミス ⇒ 正しい印字欄を選択する。 欄移動設定を確認する
印字が流れる	・ 利用方法の誤り ⇒ 印字中カードを引き抜いたり、押し込んだりしない

- ・ 以上を点検しても正常に使用できない場合は、むやみに分解・注油などを行わず弊社最寄の支店・営業所または弊社タイムレコーダー・サポートセンターへご連絡ください。

## エラーコード一覧とメッセージ

### 警告



ぬれ手禁止

- ・ぬれた手で電源プラグを抜き差ししない。  
感電のおそれがあります。



禁止

- ・電源コードを傷つけたり、破損しない。  
また、重いものを載せたり、引っばったり、無理に曲げたりすると電源コードを傷め、火災、感電のおそれがあります。

エラー音が生じて、出退ボタンのランプが消えた場合は、本体内部で異常が発生しています。

電源コードを一度抜き、10秒程してから再度コンセントへ差し込んでください。回復しない場合は、弊社タイムレコーダー・サポートセンターへご連絡ください。

エラー番号	エラー内容	処置
E-01	カードの表裏エラー	カードの表裏を反対に挿入する。
E-02	欄ホームポジションセンサーエラー	弊社支店・営業所または弊社タイムレコーダー・サポートセンターへご連絡ください。
E-03	印字タイミングパルスセンサーエラー	
E-04	カード搬送タイミングパルスセンサーエラー	
E-05	段ホームポジションセンサーエラー	

※アマノ標準タイムカード以外をお使いのときは、**正常な動作の保証をいたしません。**

アマノ標準タイムカード（A、B、CまたはDカード）をお使いください。  
（9ページ参照）

# 11 印字が薄くなってきたら(リボンカセットの交換)

## 警告



ぬれ手禁止

- ・ぬれた手で電源プラグを抜き差ししない。  
感電のおそれがあります。

## 注意



プラグを抜く

- ・電源プラグを抜くときは、必ずプラグを持って抜く。  
電源コードを引っ張るとコードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。



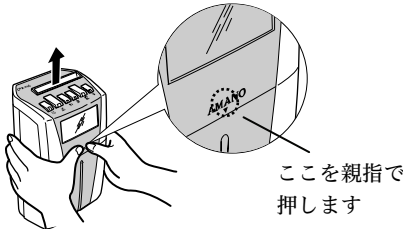
高温注意

- ・高温注意シールのところは触れない。  
やけどの原因になることがあります。

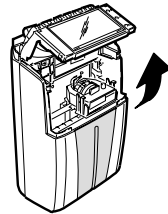
タイムカードの印字が薄くなった場合、リボンカセットを交換してください。

### 1 上ケースを開けます (14 ページ参照)

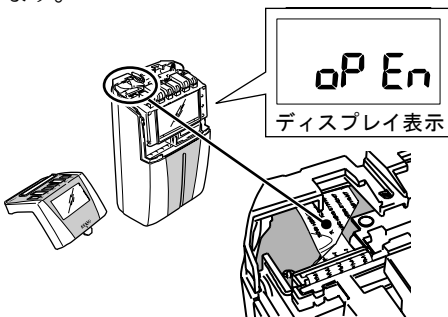
### 2 電源プラグを抜きます



上ケース中央部を親指で少し強めに押し上げるようにします。



電源プラグをコンセントから抜いて表示器を持ち上げます。



テープ状の部品は折り曲げて装着しています。  
そのままお使いください。(引き抜かないでください)

## 警告



ぬれ手禁止

- ・ぬれた手で電源プラグを抜き差ししない。  
感電のおそれがあります。

## 注意



プラグを抜く

- ・電源プラグを抜くときは、必ずプラグを持って抜く。  
電源コードを引っ張るとコードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。



高温注意

- ・高温注意シールのところは触れない。  
やけどの原因になることがあります。

### 3 リボンカセットを取り出します



高温注意

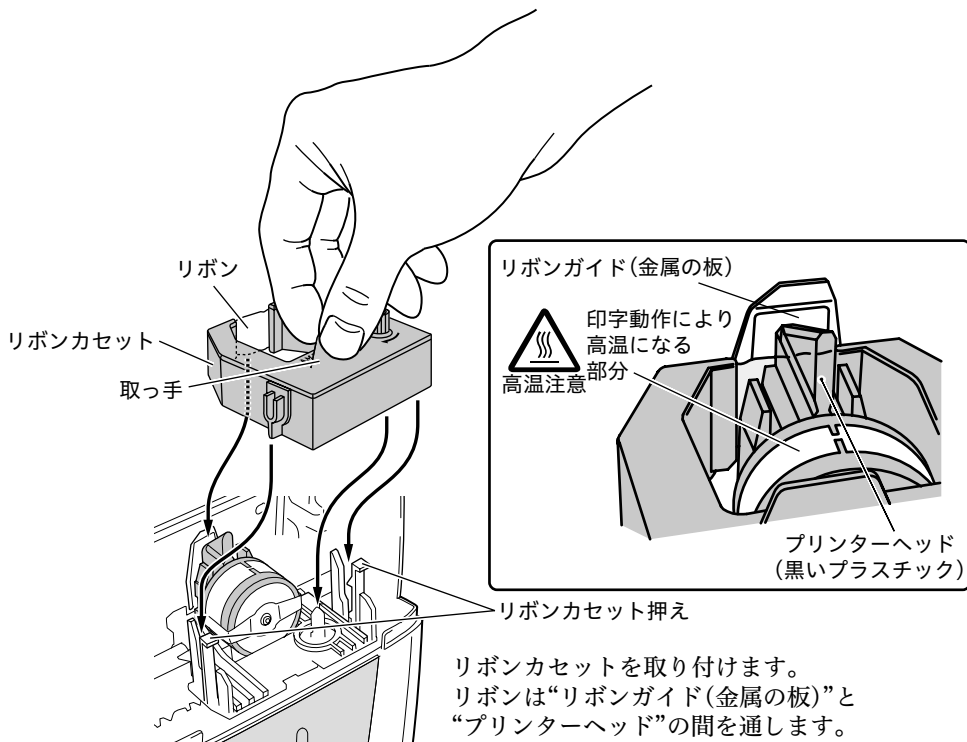
印字動作により  
高温になる部分

取っ手

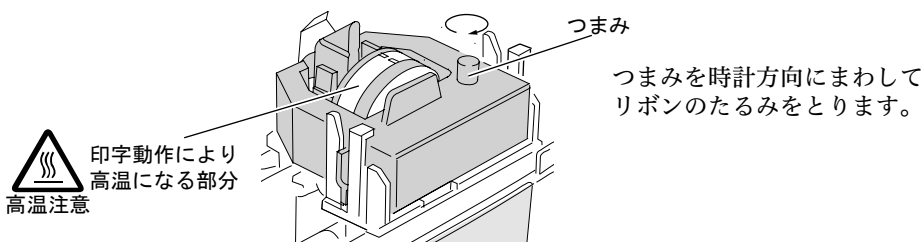
リボン  
押え

図のようにリボンカセット押えを手前に引いたまま、カセットの取っ手をもって引き抜くように取り出します。

#### 4 新しいリボンカセット(品名：CE-319250)を取り付けます



#### 5 リボンのたるみをとります



#### 6 表示器を元に戻し、上ケースを閉めます (14 ページ参照)

#### 7 電源プラグをコンセントに差し込みます

## 警告



ぬれ手禁止

- ・ぬれた手で電源プラグを抜き差ししない。  
感電のおそれがあります。



スプレー禁止

- ・可燃性のスプレー（ほこり除去スプレー、殺虫スプレー、除菌スプレーなど）を噴霧しない。  
火災・爆発の原因になります。



有機溶剤禁止

- ・有機溶剤（ベンジン、シンナー、除光液など）を使用しない。  
変形・溶解して、感電や火災の危険があります。

## 注意



プラグを抜く

- ・電源プラグを抜くときは、必ずプラグを持って抜く。  
電源コードを引っ張るとコードが傷つき、火災・感電の原因となる  
ことがあります。

## 日常のお手入れ

### ■ 普段のお手入れ

ケースの汚れは乾いた柔らかい布（綿・ネルなど）で軽く拭き取ってください。  
※硬い布で拭いたり強くこすったりすると、ケースの表面に傷がつきますので  
ご注意ください。特に窓ガラスは柔らかい布で乾拭きしてください。  
（表面は特殊加工されていますので、ご注意ください）

### ■ 汚れがひどいときは

汚れがひどいときは、水で薄めた中性洗剤にひたした柔らかい布（綿・ネルなど）  
を固くしぼったもので拭き取り、その後、柔らかい乾いた布で乾拭きしてくだ  
さい。  
※本体および電源コード類に有機溶剤（ベンジン、シンナー、除光液など）を使  
用しないでください。変形・溶解して、感電や火災の危険があります。

### ■ 電源プラグも定期的にお手入れ

トラッキング火災防止のため、電源プラグも定期的にお手入れしてください。  
（トラッキング火災：差しっぱなしのコンセントにほこりと水分が溜まり、プラ  
グとの間にスパークが発生し、出火するという火災です）  
お手入れの際は必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。  
電源プラグについたほこりのお掃除は乾いた手で電源プラグを抜き、乾いた布で  
拭き取ります。また、コンセントの周辺のほこりも取り除いてください。



## 製品仕様

使用電源：AC100V±10% (50/60Hz)

消費電力：待機時 5W 定格 10W

環境条件：温度 -10℃～40℃

湿度 10%RH～90%RH (結露のないこと)

外形寸法：高さ 224 mm×幅 138 mm×奥行 104 mm

質量(重量)：1.5 kg

時計方式：水晶発振方式 週差±3秒以内 (25℃±5℃)

メモリー保持機能：リチウム電池にて工場出荷時より停電累計時間で 3 年間  
(内部時計以外の機能はすべて停止します)。

停電時の打刻はできません。

## 消耗品・別売品

■デザイン・仕様は予告なく変更することがございます。

アマノ標準タイムカード (1箱 100枚)

[標準] Aカード  
月末/15日締め用



JAN:4946267100014

[標準] Bカード  
20日/5日締め用



JAN:4946267100021

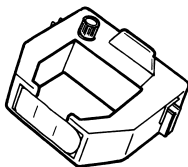
[標準] Cカード  
25日/10日締め用



JAN:4946267100038

[標準] Dカード(日付印刷なし) JAN:4946267100045

リボンカセット



品名：CE-319250  
JAN：4946267120555  
単色：黒

カードラック (サイズの単位はmmです。)



品名：125-W  
JAN：4946267110280  
12枚差し (PS樹脂製)  
101W×491H×32D



品名：20S  
JAN：4946267110297  
20枚差し (PS樹脂製)  
101W×683H×32D

JAN:JAN コードを表します。

## 製品保証とアフターサービス

本機の無償製品保証サービスは、製品保証登録をして頂くことではじめて有効になります。ご購入後、インターネットの弊社の製品保証登録サイトからご購入機器の情報をご登録ください。

### 製品保証サービスについて

---

#### ■保証期間について

保証期間の間に故障した場合には、保証登録の上、お買い上げの販売店もしくは弊社メンテナンスセンター・支店・営業所にご購入日が確認できる書類（レシートなど）をご用意いただき、修理をご依頼ください。保証期間は、購入日より3年間です。

#### ■保証期間内でも次のような場合は有償になります。

- (1) 保証登録のない場合。あるいは、保証登録の所定事項の未記入や字句を書き換えられたもの及びご購入日が確認できる書類（レシートなど）のないとき。
- (2) 誤った使いかたまたは、改造や不当な修理による故障及び損傷。
- (3) 火災・地震その他の天災地変による故障及び損傷。
- (4) 異常電圧、害虫（ゴキブリなど）による故障及び損傷。
- (5) 一度取り付けた後の移動、輸送、落下などによる故障及び損傷。
- (6) 出張しておこなう取扱説明、設定、時計調整、締日の変更や機械故障以外の調整あるいは、リボンカセットなど消耗品の交換、修理、点検、お引取りが発生した場合。
- (7) アマノ製品以外の消耗品（タイムカード・リボンカセットなど）の使用に起因して生じた本体の損傷、故障及び障害。
- (8) 製品に貼付しているラベルまたはプレートを毀損、または剥がすなど製品の商品名または製造番号を判別不能または判別困難としているとき。

### 保証期間経過後の修理

---

修理によって機能が維持できる場合は、ご希望により有償修理させていただきます。

※本製品は、日本国内でのみ使用されることを前提に設計、製造されています。日本国外では使用しないでください。また、弊社は、本製品に関して日本国外での保守または技術サポートを行っておりません。





本社／〒222-8558 横浜市港北区大豆戸町 275 番地

<https://www.amano.co.jp/>

## ■タイムレコーダー サポート&サービス

---

取扱説明書、お問い合わせ、チャットボットのご利用はこちらからご確認ください。

<https://www.amano.co.jp/Tr/support/index.html>

